



進路だより

福島県立いわき支援学校
進路指導部
第2号

令和3年7月20日発行



高等部の進路学習について

高等部では、今年度より類型Ⅰ型Ⅱ型のすべての学級で「職業」の授業が始まりました。働くことの意義や職業に関する知識及び技能を身に付けるための学習を行っています。また高等部全体で毎週水・金曜日の午前中は「作業学習」を行っています。今年度は「実践力と自己理解」のテーマのもと、「職業」等の授業で学んだことを実践する力を身に付けるとともに、自分自身の適性や課題を知って将来の進路選択に役立てることを目標に学習しています。さらに「作業学習」では、昨年度から基礎作業班（1年生）を立ち上げ、働くことの基本的なスキルを身に付ける学習を行っています。1学期間は、実習の評価表の項目をもとにして身に付けていきたい力を具体的に理解し実践する学習を行ってきました。

【実習評価表の項目】

「健康・安全」	「衛生」	「挨拶・返事」	「言葉遣い」	
「意欲」	「指示理解」	「報告」	「質問・確認」	
「協調性」	「責任」	「持久性」	「確実性」	「能率」

1年生は2学期以降、2・3年生のサービスワーク・ハンドワーク・リサイクルワークの各班で作業体験を行い、上級生とともに作業をすることを通じて「実践力と自己理解」を深めていってほしいと思います。そして2・3年生は、自分自身のスキルアップを目指すとともに、下級生のモデルとして自分自身の目標を明確にして学習に取り組んでいってほしいと思います。

高等部の進路学習の一部をご紹介しました。「進路の手引き」には、《各学部の進路指導で大切にすること》や《現場実習先で求められる力》がまとめられていますので、ご確認ください。



中学部産業現場等における実習説明会

中学部では、9月6日から10日の5日間、ワーキングウィークという校内実習を行います。ワーキングウィーク期間中、3学年は2日間の産業現場等における実習を行います。それに伴い、6月18日の3学年保護者会の中で実習についての説明を行いました。

社会に出ることを目指し、中学部では「働くことに対する関心や自信をもつこと」「働く場での規則や社会の一員としてのモラルを理解すること」「将来の進路選択へ向けての一つの経験をすること」の3つの目的をもって校外実習を進めていきます。

なお実習先としては、生活介護事業所や就労継続支援B型事業所を合わせて8か所の事業所にお世話になります。生徒にとって、大人の人たちと働く貴重な体験となります。緊張感や期待感などがあると思いますが、将来の社会生活につながるような実習にしていきたいと考えております。

✎ 「高等部前期産業現場等における実習」を終えた生徒の声

校内実習で私は、主に新聞紙バック作りや説明書の封入作業などを行いました。実習で初めてやる作業もあり、できるか不安でしたが、一生懸命できました。作業をがんばれたのは良かったのですが、がんばりすぎて体調が悪くなってしまったので、気をつけたいです。今回の実習で一番学んだことは、自分の言葉遣いと態度を直さなくてはいけないということです。私は、普段の生活ではそのことに気をつけていなくて、今回の実習を通して、自分の悪い所が分かりました。実習2週目はがんばって、自分の悪い所を直そうと努力した結果、言葉遣いも態度も良くなっていきました。これからの学校生活や後期実習では、「①言葉遣いや態度に気を付けながら行動する。」「②自分から行動できるようにする。」「③人に優しく教えてあげる。」この3つをがんばりたいです。

(高等部1年女子)



私は5月31日(月)から6月11日(金)に幸寿苑に行きました。仕事内容は、シーツの交換、消毒下膳、テーブル拭き、おしぼり配りをしました。仕事をしてみての感想は、自分から利用者さんに声を掛けてコミュニケーションが出来ました。私の実習の目標は、積極的に行動することと時間を意識して行動することでした。目標達成のために取り組んだことは、自分の仕事だけでなく利用者さんに気を配って、困ったら施設の人に相談をするようにしました。もう一つは仕事中でも、腕時計をし、常に時間を意識しました。実習では、洋服の仕分けをする時に、洋服に書いてある名前を探るのが大変でした。私の今後の目標は、実習で失敗したことを次の実習まで出来るようにすること、メモを活用して仕事を覚えるようにすることです。

(高等部3年女子)



【この「進路だより」は、高等部サービスワーク班が製作しました。】